

令和元年度 第1回市民と市長の座談会

会 議 報 告

事務局 企画財政部広報秘書課広聴係

開催日時	令和元年5月12日（日）午後2時00分～4時00分
開催場所	前原暫定集会施設
参加者	男性 7名 女性 7名 計14名
会議次第	1 開 会 2 市長あいさつ（市政報告） 3 懇 談 フリーテーマ 4 閉 会
主な意見	<ul style="list-style-type: none">・（仮称）新福祉会館のトイレについて・「市民の声」の取扱いについて・新庁舎の授乳室について・小金井市の自然、緑の保全について・都市計画道路について・市民協働について・議会の開催場所について・議会運営について・市への愛着、郷土愛について・緑化政策の予算について・災害時の対応にも配慮した新庁舎計画について・手話通訳タブレットについて・不燃系ごみの処理方法、収益化について・子ども食堂の補助制度について・地域コミュニティについて
懇談内容	別紙のとおり
その他	手話通訳者 2名 保育士 2名

令和元年度第1回 市民と市長の座談会

令和元年5月12日

1 開 会

○司会者

皆様、こんにちは。本日はご参加いただきまして、まことにありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます広報秘書課長の天野と申します。どうぞよろしくお願いたします。それでは着座にて進行させていただきます。

初めに配付資料の確認をさせていただきます。1点目が次第、2点目アンケート、3点目平成31年度施政方針、こちらは今年の2月20日に表明したのになりますので、令和元年度ではなく平成31年度という表記になっております。その次が、令和元年度小金井市予算の概要、こちらは14ページから26ページを抜粋したのになります。最後に、市報こがねいの新庁舎・（仮称）新福社会館建設についての特集の号になります。さらに、昨年60周年を記念したクリアファイルのほうも添えてございますので、お持ち帰りの際に挟んでいただければと思います。

あらかじめ皆様にご用意したものは以上の5点でございますが、このほかに、受付のほうに幾つか参考資料を置かせていただいておりますので、後ほどご覧いただきましてご自由にお持ちいただければと存じます。

開催に当たりまして、事務局よりご説明を申し上げます。この座談会は、平成28年度から開始したもので、毎年、年に4回程度、市民の皆様と市長とのフリートークということで開催しておりまして、本日は今年度の第1回目の開催となります。本日の進め方でございますが、初めに市政報告を兼ねまして市長のほうから挨拶をさせていただきます。その後、意見交換ということで皆様から自由にご発言いただき、それに対して市長がお答えするという形で進めさせていただきます。

懇談に入る前に事務局より3点ほどご了承いただきたいと存じます。1点目、懇談中につきましては議事録作成のため録音をさせていただきます。2点目、懇談の様子を撮影した写真をホームページに掲載させていただきます。写っては困るというような方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。3点目でございます。本日の終了時刻は午後4時までとなっております。会場を撤収する都合上、終了後

は速やかにご退場いただきますようご協力をお願いいたします。では、次第に従いまして、市長の西岡よりご挨拶と市政報告をさせていただきます。

2 市長あいさつ（市政報告）

○西岡市長

皆様、こんにちは。小金井市長の西岡真一郎でございます。今日はとっても天気がよくて、日曜日ということでございます。これだけお天気のいい、お出かけしたくなるような天気でございますが、わざわざ市民と市長の座談会にご出席いただきましてまことにありがとうございます。

この座談会は平成28年度から開催してございます。平成29年度以降は年に4回開催しております。これまで通算で10回開催してまいりました。今回は令和元年度最初の開催となります。必要に応じまして特別なテーマを設定することもございますが、市民の皆様方からさまざまな幅広いテーマについて、またさまざまな観点からのご意見をいただいて、それを市政運営の参考にしたいと考えておりますことから、本日もそうですが、基本的には特にテーマを設定せず、フリートークという形で開催させていただきます。今回もフリーテーマということでございますので、私の挨拶の後、皆様からさまざまな、小金井市、小金井市政に関するご意見、ご提案、ご要望をいただきたいと思っております。その前に、冒頭20分だけお時間をいただきまして、私から市政報告を行わせていただきたいと思っております。お手元にご配布させていただきました資料なども時折引用させていただきたいと思っております。

さて、令和元年5月1日現在の小金井市の人口は12万2,010名でございます。平成29年10月10日の日に小金井は初めて人口が12万人を超えました。あれから一年半で2,000人以上の人口が増えたということになります。また、令和元年ということで改元がありまして、10連休、皆様方はいかがお過ごしになられましたでしょうか。私は4月30日から5月1日未明まで市役所にずっと待機をしておりましたが、いわゆる婚姻届を出される方が非常に多く、4月30日には6組、5月1日は何と54組。10連休全体で72組もの方たちから婚姻届が提出をされました。令和婚というのでしょうか。とてもおめでたいことでもあります。また、10件の出生届もこの10連休に提出をされま

した。新カップルの方々の輝く笑顔を見せていただきました。すばらしい、実りある新生活をこの後から送れますように、心からお祈りをしているところでございます。

さて、私が市長に就任させていただいて3年と5カ月弱が経過いたしました。この任期も残すところ7カ月余りとなりました。ここで、私がこの間、重要課題と位置づけて鋭意取り組んでまいりました、主に4つのこと、そして令和元年度の予算の主な概要等につきましてご報告させていただきます。

まず1点目は小金井市の最優先課題でございます、可燃ごみの処理についてでございます。小金井市の可燃ごみは広域支援と申しますが、多摩地域の各団体の施設で処理をいただいています。平成19年度に二枚橋の炉を停止してから、約12年間ずっと、多摩地域の方々に可燃ごみの処理のご支援をいただいております。各団体の施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様のご理解とご協力のおかげでございます。平成30年度、昨年度につきましても滞りなく処理することができました。

平成27年7月に日野市、国分寺市及び小金井市の3市により、可燃ごみの共同処理を行うため、浅川清流環境組合を設立いたしました。現在、日野市内におきまして、平成29年11月から新可燃ごみ処理施設の建築工事を開始しております。順調に工事は進展しております。そして来年、令和2年、2020年4月からの本格稼働を目指して順調に工事が進捗しております。今年の12月頃以降には、新施設の試運転に伴うごみの全量搬入を開始する予定となっております。平成19年度から長年続いてまいりました12年間に及ぶ可燃ごみの多摩地域での広域支援は、今年がいよいよ最終年ということになります。

小金井市といたしましては、ご支援をいただいている多摩地域各団体及びその施設周辺にお住まいの皆様並びに関係者の皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、与えられた役割と責任をしっかりと果たしていかなければなりません。市民の皆様方におかれましても、ごみの減量及び資源化の推進はこれからもずっと取り組む重要課題です。どうか引き続きご協力をお願いいたします。

なお、小金井市は、人口10万人から50万人未満の自治体の中では、平成28年度はごみの1人1日当たりの排出量が全国で一番少ない自治体です。そして、リサイクル率は50.2%で全国で第2位でございました。これらは小金井の市民の皆様、事業者の皆様、廃棄物減量等推進審議会など多くの皆様方のご尽力のおかげであります。そして先日、環境省から平成29年度の最新のデータが発表されました。人口10万人から50万人未満の自治体の中で、引き続きごみ1人1日当たりの排出量が一番少ないのが小金井市でござ

います。そして、昨年度まで2位であったリサイクル率は51.8%となり、全国で1位となりました。これは大変誇れることでございます。これからも力を合わせて頑張ってもらいたいと思います。

2点目は、私が小金井市の市長に就任させていただいて、最重要課題と位置づけた庁舎問題についてでございます。お手元に5月15日号の市報こがねいの記事を配布させていただいておりますので、こちらをごらんいただきながらご報告をお聞きいただければと思います。今、皆様方のご自宅にちょうど配布をしている最中でございますので、ごらんになった方がいらっしゃれば、月曜日、火曜日にご自宅に到着される方もいらっしゃるかと思います。

私が市長に就任以来これまで庁内での検証、（仮称）新福社会館建設基本計画策定市民検討委員会などでの議論、建設調査、さまざまなことを行いながら、市議会における議論、市民説明会やワークショップなどを何度も開催してまいりました。そして、市民との座談会や議会や市民の皆様との対話を積み重ねながら、この新庁舎建設、そして（仮称）新福社会館建設の実現を目指して努力を積み上げてまいりました。言うまでもなく小金井の庁舎は深刻な老朽化、分散化、第二庁舎の賃借期間の長期化による財政的課題、バリアフリー化にもなっておらず、4階の議場までは階段を上っていかなければいけないことなど、たくさんの課題を抱えてございます。

いよいよ今年の3月には基本設計を進めるための契約を締結し、現在は新庁舎建設予定地、旧蛇の目ミシン工場跡地でございます。こちらに中心的な行政拠点である新庁舎、新しい庁舎を、蛇の目ミシン工場跡地にそして地域共生社会の拠点であります（仮称）新福社会館を、庁舎と福社会館の機能を連携させた多機能複合施設として建設いたします。そのための基本設計にとりかかったところでございます。お手元の資料にございますように、受託者は佐藤総合計画という事業者に選考されました。基本設計では建物の構造や配置、各階の基本的なレイアウト、備えるべき機能や設備、内外のデザインなどについてのとりのまとめを進めております。基本設計で約1年間の期間をいただきます。

この間、市民参加も進めてまいりたいと思っております。そのために、資料の一番最後、4ページをごらんいただきたいと思いますが、市民ワークショップを4回、それからこがねいミーティングという会議体を設置いたします。このワークショップとこがねいミーティングのメンバーは、現在募集をしているところでございます。ぜひ奮ってご応募、挑戦をしていただければというようところでございます。なお、そちらに描かれてございま

すレイアウトは、技術提案でございまして、受託者の佐藤総合計画さんからいただいたご提案でございまして、最終的にはどのような形になるかは、これからの1年間の基本設計を進めながら確定していくことになります。

私としましては、もう長年の課題、平成4年に旧蛇の目ミシン工場から庁舎建設予定地として土地を取得してから、もう27年。長年の課題でございまして。何としましてもこの新庁舎並びに（仮称）新福祉会館の建設を実現できますように、これからも多くの方々との議論を積み重ねてまいりたいと考えているところでございまして。

3点目は、子育て環境日本一に向けた取り組みについてでございます。私が市長に就任する前、平成27年4月の待機児童数は164人でありました。その年の保育園の定員数は2,007名ということでございました。平成30年4月の時点で2,742人まで定員増を図り、実に8年ぶりの2桁台になります88人ということで、待機児童数が発表されました。今年の5月1日現在の定員数が3,028人となり、就任以来1,000人以上の定員増を図ってまいりました。しかし、依然として保育園に入れなかった方がいらっしゃることに変わりはありません。大変申し訳ないと思っております。何としましてもこの待機児童解消を目指して、引き続き担当職員ともども努力を進めてまいります。

さらに、幼児教育、保育の無償化が今年の10月から消費税率の改定に合わせ施行されます。これに伴う入所希望の増加が予測されるところでございまして、待機児童対策には今後も引き続き力を入れて取り組まなければならないと考えているところでございます。

また、保育を希望する家庭及びその子どもが等しく保育サービスを受けられ、子どもが健やかに成長できるように、保育の質のガイドラインと今後の保育施策として取り組むべき方向性について定めるため、現在、保育計画策定委員会を初めて設置いたしました。そしてその内容を検討いただいているところでございまして。今後は、保育の量だけではなく、質の向上も含めて引き続き全力で取り組んでまいります。

また4点目は、行財政改革の推進についてでございます。第3次行財政改革大綱の計画期間が平成27年度に終了し、私が市長に就任いたしました翌年、平成28年度は行財政改革の計画がない空白期間となっていました。その平成28年度1年間かけまして、さまざまな議論を積み上げてまいりました。平成29年4月には、小金井市行財政改革プラン2020を策定いたしました。また、これを具体的に進めていくために、平成29年9月にはアクションプラン2020を策定し、11の取り組み項目に分類して、項目ごとに年次計画を定めて取り組んでいるところでございまして。

こうしたプランのもと、今年4月からは市民課窓口業務の民間委託も開始したところがございます。私は市民の力、地域の力がもっと活かされる小金井を目指しています。あわせて、業務運営、業務改善につきましては、民間活力を大いに導入してまいりたいと考えております。このほか、市役所の改革といたしましては、育ボス宣言に伴う男性職員の育児休業取得率の向上や、開庁時間の見える化、時差出勤制度の初めての導入などによる時間外勤務の抑制にも取り組んでいるところでございます。

行財政改革プラン2020及びアクションプラン2020に基づく取り組みを進めた結果、2年間で約4.9億円の財政効果を得ることができました。しかし、まだ道半ばであります。令和元年度におきましては、行財政改革という確かな成果が感じられる1年、新たな行政課題を明らかにし、その対応を始めていく1年とするため、私自身も先頭に立ちまして、全職員とともに本気の改革を進めてまいります。

続きまして平成31年度、令和元年度の主な予算のことにつきまして、ポイントを絞ってご説明させていただきます。「小金井市予算の概要」という資料をぜひごらんいただきたいと思います。主に新たに取り組む課題などについて、ページを追っていきながらご説明してまいりたいと思います。

まず15ページから、2枚目をお開きいただきたいと思います。一番下です。清掃関連施設整備に要する経費。先ほどもございましたが、不燃ごみの件でございます。今、この資料でご説明いたしますのは、不燃系、粗大系、資源系のごみの処理でございます。小金井市は現在、貫井北町、そして庁舎建設予定地で、暫定的に空き缶、ペットボトルなどの処理をしています。今後は二枚橋の焼却場跡地と中間処理場、この2つの場所に清掃関連施設、不燃系の施設の再整備を行わせていただきます。こちらも12万市民の皆様方の生活を支える上では欠かせない施設であります。これを成す理由であります。中間処理場が稼働してから二十数年たちましてかなり老朽化してまいりました。早め、早めにしっかり対策をとらなければいけないということを肝に銘じているところでございます。今後、今年度はこの清掃関連施設の再整備に向けました設計や施工に向けた準備を行っていくこととなります。

続きまして17ページでございます。一番上のところです。駅周辺のまちづくりを推進してまいりました。もう皆様方も、小金井にお住まいですと、ほぼどの場所からも見えるぐらいの高さに工事が進捗をしてまいりましたが、武蔵小金井駅南口第2地区第一種市街地再開発事業を進めてまいりました。来年の5月が完成予定でございます。夏ごろにはま

ちびらきが行われる予定でございます。4階までは店舗等、住居部分は716戸の住居と
なっているところでございます。大変多くの方々がここに住まわれることとなりますので、
第一小学校、第二中学校のエリアともなります。ここにお住まいの方々にとりまして、
小金井市を選んで住んでいただいた方々でございますので、住民サービス、市民サービ
スの向上に向けまして努力をしてみたいと思っております。また、中ほどには無電柱化
基礎調査委託料という予算が計上されておりますが、私はこの無電柱化、電線を地中に埋
設していくという工事を進めてまいりたいと思っております。このことによりまして防災
上大変に効果がございます。また景観もよくなります。空も大変に広くなりますので、こ
の無電柱化をどの路線でどのように計画をやっていくのか、これらのことを調査してまい
ります。

また一番下、東小金井駅の北口の土地区画整理事業も進めておりまして、およそ4分の
3、あるいは70%ぐらいの事業の進捗率となってまいりました。武蔵小金井駅の南口同
様に、今後東小金井駅の北口ロータリーも改札を出て、雨にぬれずにバスに乗れるよう
に上屋根の設備設置に向けまして、いろいろな準備を行わせていただきます。

また18ページ、下から2番目です。今日も実は午前中、野川の第二調節池で総合水防
訓練を実施いたしました。昨今、地震だけではなくて風水害への対策というものも大変重
要になってまいります。台風、そしてゲリラ豪雨。昨年は、私も小金井市民として小金
井市に住み、約40年近くがたちましたが、あれほど強い風を経験したのは小金井では初め
てであります。昨年はあの風によって小金井市の公共用地110本の樹木が倒木いたしま
した。幸い、あの風が発生した時刻が深夜から未明にかけてでありました。もしあれが日
中に起きていたらと思いますと、ほんとうに、どれぐらいの被害が出ていたのかなと思
います。これから風水害対策にもしっかりと取り組まなければいけないと思いますが、初めて
小金井市では自主防災会の方々が防災倉庫を設置するための補助制度を策定いたしました。

また隣の19ページには、はけの森美術館ホームページ作成委託ということがありますが、
中村研一画伯が住まわれていた中村研一郎主屋と茶室、この2つの建物は佐藤秀三さ
んという方が設計されたとても価値のある建物でございまして、下に「花侵庵」と書いて
ございますが、昨年3月に小金井市内で初めて国の登録有形文化財に登録されました。と
ても素晴らしいことでありまして喜んでおります。現在この中村研一郎主屋には、はけの
森カフェというすてきな場所があります。ここでは小金井産野菜をふんだんに使ったおい
しいお料理やスイーツを提供しております。昨日も行ってまいりました。ぜひこのすばら

しい無二の価値のある、国分寺崖線の文化と歴史のあるはけの森美術館周辺を訪れてみていただきたいと思います。昨日も行ってきましたが、大変大勢の方々が来られておりました。

20ページから21ページにかけましては、子どもたちの教育に関する予算の主だったものを掲載してございます。昨今の夏の暑さはもう、災害とも言われています。昨年も大変に暑く、夏のプールも何日も中止になっています。学校へのエアコンの設置を今進めておりまして、普通教室は全て設置いたしておりますが、特別教室への設置、また第四小学校を先行してモデル事業として体育館へのエアコンの設置を進めております。

また、2020年度には新学習指導要領の大改訂が行われまして、学習、子どもたちの体育などに大きな制度変更が、内容の変化がもたらされます。そのために、タブレットを購入いたします。

学校の給食の関係でございます。現在、地場産野菜の活用を増やすなど、いろいろなことに取り組んでいます。

また、いじめ防止条例という初めての条例の策定を目指して準備しております。

また、外国人の方々による英語の指導を既に行っておりますけれども、その充実をしてみたいと思います。

放課後子どもプランの事業を充実してみたいと思います。

東京2020オリンピック・パラリンピックがいよいよあと1年と数カ月と迫ってまいりました。小金井は、東八道路及び小金井街道の一部が自転車ロードレースの競技コースに選考されました。今年は7月21日日曜日にテストマッチが開催されます。ぜひ多くの方々に、沿道で世界のトップアスリートのすばらしいパフォーマンスをごらんいただきたいと思っております。また、多くの小金井の子どもたちにこのオリンピック・パラリンピックにかかわっていただけるように、いろいろな工夫をしてみたいと思っております。

また、小金井では初めて、学校法人田中育英会、前原町にございます総合学院テクノスカレッジ、東京工学院専門学校と覚書を結びまして、民間の事業所が運営している体育施設を開放していただいております。また、小金井市の総合体育館に空調設備を設置する工事を今年度から行わせていただきます。

その他、22ページに向かいますと、福祉の関係でございます。自殺対策計画というものを初めて策定します。

23ページ、上から2つ目でございますが、児童発達支援センターでは、市内保育施設

等への巡回相談を充実させていただきます。

また、介護職員宿舎借上支援事業補助金というものも初めて導入いたします。これまで小金井ではこの待機児解消に向けまして大分保育園を新設いたしましたし、定員数も1,000人を超える増を図ってまいりました。あわせて、そこで働く職員の方々が定着しなければ、こういった事業は安定的に行えません。保育士の方々への宿舎借り上げもこの間支援策を講じてまいりましたが、新たに今年度からは高齢者介護、介護の分野で働いていただいている事業所の方々の宿舎借り上げの支援という補助金を初めて新設いたしました。

続きまして最後のページ、24ページにまいりますと、医療関係でございます。上から2つ目は成人歯科検診、20歳から80歳まで5歳刻みで成人歯科検診が受けられるようになります。

また下から2つ目、義務教育就学児医療費助成に要する経費ということで、こちらは小金井市議会の議員提案によって可決成立した内容を私も受けとめまして、今年度から実施いたします。10月1日から新たな制度がスタートいたします。義務教育就学児医療費助成条例の改正に伴い、小学校1年生から小学校3年生保護者の所得制限がなくなります。今現在、この制度の普及啓発に取り組んでいるところでございます。

また25ページ、上から2つ目、小金井は今まで病後児保育は一か所で行ってまいりましたが、病児保育の事業を実施できておりませんでした。これは大きな課題でありましたが、おかげさまで今年の秋口から初めて病児保育事業を実施する準備を今、進めているところでございます。

そして、最後のページでございます。上から2つ目、第5次基本構想・前期基本計画の策定のための、市民参加による意見交換会などが今年度からいよいよ始まります。この第5次基本構想というものは、いわば自治体の一番の上位の計画でございます。国でいいますと、憲法に当たるかもしれません。小金井市が10年間にわたって目指すべき方向性を市民の方々とまとめ上げていく、これは大変な作業です。このために、中学生の方々の意見交換会や、高校生の方々のワークショップなど、また幅広い市民の方々の意見交換会などを計画しておりまして、ぜひ一人でも多くの方々に参加していただきたいと思っています。

以上、私が特に重要課題と位置づけている4点、プラス平成31年度、令和元年度の予算概要について申し上げます。

この後は、皆様方から幅広いテーマでさまざまなご意見、ご提言、ご要望をお伺いした

いと思っております。小金井市はまだまだたくさんの課題を抱えております。皆様との対話を通しまして、今後の市政運営にしっかりと反映できるように努力をしまいたいと思っております。どうぞ活発なご発言をお寄せいただきたいと思っております。16時までこの会場は確保してございますので、約1時間半にわたりますて貴重な意見交換会を行わせていただきたいと思っております。まことにありがとうございました。よろしくお願いいたします。

3 懇談

○司会者

では、これより意見交換に入りたいと存じます。ご意見のある方、挙手をお願いします。

○西岡市長

ご質問でも構いませんので。

○市民A

私はもう歳ですので、今度できる福祉会館は、トイレの数を増やすか、あるいはトイレは1個でも中のボックスだとか何か、そういうものを多めにしていきたいと思うのです。やっぱり歳ですから。

○西岡市長

ありがとうございます。ちょっとこれは見にくいのですが、受託者の方々からも、配置に向けた提案をいただいているところでございます。最終的なトイレの設置個数や設置場所、またその仕様、機能といったものはこれから詳細を詰めてまいります。

私の現時点での思いとしましては、やっぱりユニバーサルデザインであり、新しくできるこの福祉会館には、ファミリーサポートセンター、子ども家庭支援センター、今、貫井北町にございます保健センターの中に入っている全ての機能がこの小金井市の中心地域、福祉会館の中に移動します。そうしますと、小さなお子様を連れのお母様、妊婦さんも大勢来られるところになりますので、そういった福祉の視点を持ったトイレというものを整備してまいりたいと思っております。高齢者にも配慮いただきたいということは十分踏ま

えて、基本設計に臨ませていただきたいと思います。まだ今日の段階では何とも言えないですけれども、不足がないように設置したいと思います。

○市民A

よろしく願いいたします。

○司会者

新庁舎と（仮称）新福祉会館の基本設計に関しましては、受付のほうに資料も置いてありますけれども、ワークショップもこの後開催いたします。トイレに限らず、広場の使い方、マルチスペースの使い方、多目的室の使い方、市民利用スペースの使い方などについて考える機会がございますので、ぜひそういったところにもご参加いただきまして、ご意見いただければと思います。では、ほかに何かございますでしょうか。

○市民B

すみません、〇〇町在住のBと申します。よろしく願いいたします。

何度かこの座談会において、街路灯問題で市長さんのほうにもお話しさせていただいておりますが、今回4月の二十何日かな、一応お隣の小柱が問題のあれで、これは東京電力とお隣の電柱の問題なんですね。それで、東京電力はやっとその小柱を立てさせていただいたと。お隣の方は電柱がいない理由をおっしゃいません。裁判もしましたけれど、電柱がいない理由は言わなくていいですよ。結局、私が一人で悪者にされているんです。

その小柱には街路灯、許可しないことになっておりました。それを当時の交通対策課長さんが無理やりそこにつければいいということで、強引につけられて、それには電柱番号とか何かいろいろ難しい問題もありますけれども、今回、そのお隣の小柱に街路灯を設置するにあたっては、市民の税金であると。だからその周辺住民二、三人にそのこととお話しして、了承を得なければつけれないということを、後任の担当者から伺いました。そのことを二、三人に話をして反対されたら、お隣の小柱に街路灯を許可できないか、そのことは話しませんでした、ということが今回新たにわかったんです。

で、27年に市長さんがおかわりになる前に、前市長さんにその問題のこと、ちゃんと新市長さんには問題を解決してくださるようお願いいたします、申し送りをしてくださいとお願いをしたにもかかわらず、広報広聴課長さんが担当課に回答しなくていいですよとい

うことになっていまして、それで延々と座談会で市長さんにお話をするのに、市長さんには報告されていなかったということなんです。

今回、東電がお隣の電柱、経済産業省資源エネルギー庁から東電本店に移設、考え直しなさいよと言われてはいますが、東電は市役所さんから、街路灯設置を依頼されていますから、と東電はエネルギー庁に出していますから、その部分で、申し訳ないのですが、今回のお隣の街路灯の撤去をまた新たにお願ひしたいと思うのです。そうしないと話が進みません。東電はお隣には次の移設先を考えてからお隣に話をしますとおっしゃっていますけれども、問題はお隣が電柱をいらないとおっしゃっていることなんです。

そのことについては、電柱番号というのが問題になりますけれども、それが電柱番号、78号柱、79号柱の違いがわからない、当時の担当者が私に言いましたから、高圧線と低圧線の問題ですよと話をしました。で、あなた、要するに市役所の当時の担当者、工事資格をお持ちでしたから、あなたは電線見れば高圧線か低圧線かわかりますよねと言ったら、うん、わかると。高圧線じゃないよとおっしゃいましたので、でも、東電は私に高圧線の証明書を出していますよ。そうしたら……。

○市民C

すみません、簡潔に。

○市民B

長くなってすみません。要するに、市長さんにはそのことを全然話してないので、4月の27日かな、市長室に行ってお話しさせていただきました。こういうふうになって、市長さんはご存じないと。だから取りつけたことが問題なので、撤去していただきたいと言いましたら、市長秘書の方は、今日のことは市長に話をしませんと。今度お見えになっても面談もしませんと。私はもう十何年もやっていますので非常に困っておりますので、市長さんは、当時の担当課長にきちんと話をさせていただいて、街路灯撤去をお願いしたいと思って、今日伺いましたということなんです。

それなので、電柱のあれが入ると非常に問題にはなりますけれども、要は街路灯を許可できないことと、ここは整備できないことと、その当時私たち市民に話をしなければいけないのをしなかった、市民の税金であると。それを今ずっと、このまま東電に供託されて非常に困りますので、そのことは当時の担当課長に言っていただきたいと思って、今日伺

いましたので、きちんとそこは整理していただきたいと思います。皆さんすみません。もう十何年も延々と困っているので、ここで話をさせていただきました。よろしくお願いいたします。

○司会者

今、広報秘書課から担当部署のほうに回答しないでいいというようなお話ありまして、誤解がないようにちょっと申し上げておきますけれども、その件については担当課のほうで既に取り合っているというようなことでしたので、それ以上のお答えができないというような旨を説明させていただいたところでございます。それにつきましても、そのような対応をすることについて市長決裁をとってございますので、市長の耳に入っていないということはございませんので、ご理解いただきたいと思います。

○市民C

すみません、今の何が問題なのですか。何が課題なのですか。

○司会者

その辺はちょっと個別具体的過ぎて、この場でお話するにはふさわしくないのかなと思いますので、皆さんにご理解いただけるようなものではないと思っておりますので、ご遠慮させていただきます。

○市民B

延々と長くなりますので、2時間じゃ足りませんので、すみません。

○市民D

何の話だかわからないです。どこの場所のことかもわからない。全然わからない。

○西岡市長

まず私のほうから申し上げるのは、今発言された方から市役所にお寄せいただいたたくさんのご提案ですとか要望書やご意見やお電話での声や、市役所に訪問されておっしゃったことなどは、私のもとには報告を受けております。発言者の方の関係と隣の方の関係、

財産権にかかわるものや、東京電力さんとの関係に及ぶことなどなど、さまざまありまして、小金井市としてどういった対応がとれるのかも含めましては、長い経過があるお話でございますので、引き続き今日はそういったようなご要望は受けとめさせていただきましたので、担当とも、今日発言者の方からこういった声があったということは、私のほうからでもご報告をさせていただきたい。今後のことについてはまた引き続き慎重に検討させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○市民B

よろしくお願ひいたします。すみません、ちょっと一言いいですか。経済産業省の方から、どちらの市役所ですかと聞かれたので、小金井市役所ですということは答えてありますのでよろしくお願ひいたします。

○司会者

ほかにございますでしょうか。

○西岡市長

どのようなことでも大丈夫です、ご質問でも。

○市民E

今度の新庁舎でトイレの話が出たので。私は保育士をしているのですが、公民館とか公共施設で授乳室、授乳スペースがないということに、やっぱりとてもご不満とかご不便を感じていらっしゃる方がいらして、もちろんだたかに、その館の館長なりにお申し出いただければそれなりの場所はスペースを用意はしてくださると思うのですが、やっぱり皆さんなかなかそこまでは申し上げにくいと。なので、設計に盛り込まれていないということはないとは存じますが、ほんとうにお忘れなくといえますか、授乳室、授乳スペース、駅に近い場所ですので、皆さんそうやってちょっと駆け込めるような、そういった場所を用意していただけたらと存じます。よろしくお願ひいたします。

○西岡市長

貴重なご意見ありがとうございます。その視点はこの新庁舎・（仮）福祉会館に必要な

視点だと思います。この中には健康課、保健センター、ファミリーサポートセンター、子ども家庭支援センターが入ります。当然妊婦さんや乳幼児をお連れの方々も大勢来られる施設になります。どのような形でどの場所に設置をするかはこれから考えていただきます。また小金井市の公共施設におきましても、子育て環境を充実するためにそういったお声を利用者の方や市民の方々からお寄せいただいております。体育館や公共施設におきましても、赤ちゃん休憩室という形で授乳ができたりおむつが交換できたりというスペースは確保してまいりましたが、今後ともその充実に向けて努力してまいります。小金井市では平成29年度から屋外用の赤ちゃん休憩室というテントをつくりまして。

○市民E

存じ上げています。

○西岡市長

ありがとうございます。これは職員の提案によって実現したものでありますが、小金井は公園での屋外イベントが多いですね。小金井公園ですとか学芸大ですとか、くじら山はらっぱですとか栗山公園ですとか。そういったときに、かなりの方々にご利用いただいております。私も何人かいつも並んでいらっしゃる状況を拝見しております。そういう視点はこれからも大切にしていきたいと思いますので、ぜひ今度はこちらのワークショップのほうにもご参加いただいて、ぜひいろいろなご助言をいただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

○司会者

ほかにございますでしょうか。

○市民F

すみません。いろいろと、駅前の開発とか小金井の発展のすばらしいご計画を伺ったのですが、ここの「はじめに」という文章にもあるように、小金井では湧き水、緑、自然を守る、すばらしいこのかけがえのない環境を失うことのないように将来につなげていくことは私に課せられた最大の役割です、と書いてございます、同じような問題なのですけれども、ほんとうにこの小金井のすばらしさというのは、東京近郊で唯一、自然公園が残さ

れていることなのです。井の頭公園にしろ、そこら辺でつくっている公園はほとんどが人工の公園でして、真ん中に川が流れていて、野原、自然林からなる武蔵野、野川公園のように、今の季節のすばらしさ、それから貴重な生態系が残されているんですね。それはやっぱり絶対に小金井の宝として、もう破壊しないでいただきたいと思います。それこそシラサギやホタルを皆さんもごらんになったと思うのですが、そういう自然遺産を私たちが過去から受け継いだ、それをそのまま未来に残す責任があると思うのです。

なので、例えば尾瀬ヶ原に道路をつくるとしましたらみんなが反対すると思うのですが、それは尾瀬の景観とか生態系をみんな有名だから知っているので反対できるのですが、野川というのは、特に貴重な自然の生態系というのは知られていないもので、やっぱり小金井市、私たちもそうなのですが、ほんとうにみんなで守って保護していくべきものだと思うのです。それこそあそこに橋がかかってトラックが通ってしまったら、それで脇を見たらシラサギやホタルがいたなんていう石碑を建てても何にもならないのです。

ですので、祖先が残してくれたこのすばらしい野川公園というものを将来に引き継ぐことはほんとうに小金井の使命だと思いますので、よろしく願いいたします。

○西岡市長

非常に貴重なご意見をお寄せいただきましてありがとうございます。

○司会者

その他ございますでしょうか。

○市民G

今、お話をさせていただいたのは私のワイフなんですけれど、私自身も野川周辺もしょっちゅう行っておりまして、今、小金井で生活をしていて一番気になることなものですから、ちょっと補足させていただきたいのですけれども。

○司会者

すみません、十分ここで声は聞こえるのですけれども、議事録を起こすときにちょっと音が入らないので、マイクをもう少し近づけていただいてもいいですか。

○市民G

西岡市長からの先ほどのイントロダクションの中でいろいろな計画をされているのですけれども、全て素晴らしい。ただ、残念ながら1つだけ、環境問題について、やはり今、私のワイフが申しましたとおり、私は非常に懸念しております。といたしますのは、ご承知のとおり東京都が50年前につくった道路計画が、非常に素晴らしいこの自然を破壊する形でつくられようとしていると。それで、現況はご存じの方も多と思いますけれども、意見交換ももう成立しないような、そういう状況になっております。

要するに東京都は、彼らの方針に基づいて、小金井側が何と言おうがとにかくやることはやるんだという感じで話が進んでいると。やはりそういうことをストップさせるのは、我々住民、市長を中心として、市議会、それから市民、三者がほんとうにこの問題に真剣に、真剣なんだと、大変な問題なんだということを何とかして東京都に知らせることしかないんだろうと思うのです。

そういう意味で、実は市長さんはもうご存じなのですけれども、最近我々も有志で市議会に陳情書を出しました。その内容は、1つは環境宣言。これは前々から市長さんにお話、お願いをしていることなのですけれども、ぜひ早く出していただきたいということ。もう一つは、西岡市長が常々おっしゃっているとおり、行政の一貫性。その考えは、やっぱりマスタープランの話なのだろうと思うのです。マスタープランの中で、問題の道路は進めることになっているんですとおっしゃっているわけですが、やはりこの時点でもう何とかして、このマスタープランというのは別に憲法ではないわけですから、ほんとうに環境という問題の重要性をもう一度この地点に立って考えていただいて、マスタープランを修正するというをぜひとっていただく。

それからそれに加えて、問題の小池知事自身も選挙中、ご存じのとおり、問題があれば見直しをやります、現地視察もやりますということを行っているわけです。それに加えて彼女は毎年繰り返して、東京を環境先進都市東京にするんだという、非常に立派なことを言っているわけです。それで今、来年オリンピックを控えていて、今度のオリンピックもSDGs五輪と言われているように非常に環境が重要だと。それから、ご存じの方もいらっしゃると思いますけれども、最近国連関係を中心として発表されたレポートによると、要するに今、世界中で100万種の生態系が絶滅しようとしていると。このまま放っておいたら人類の将来というのはともかく人間自身を含めて非常に危ないのだ、そういう状況になっているわけです。

そういう意味でも、ワイフがさっき申したとおり、東京近辺ではもちろんのこと、日本の国内でも珍しい、そういう自然の美しさ、ほんとうに自然のすばらしいものを持った小金井の市長として、住民として、あるいは市議会議員として、要するに我々全てがやはりこの自然を守らなきゃいけないと。したがって、それを破壊するような道路建設はともかく、いろいろな理由でやめるべきだということをもう一度改めて再確認というか、非常に声を大にして力強く小池知事を説得するような形でぜひアプローチいただいて、そういうことがほんとうに実現するように持って行っていただきたいと。

これは何といいますか、私1人ではなくて、この問題については、非常にはっきりした形で取り上げる人はまだまだ少ないのかもしれないですけども、環境問題について反対する市民はいないはずなんです。そういう意味で、ぜひこれは小金井市民全体の要望だという考えを持っていただいて、何とか解決していただきたいと思います。それによって、先ほどおっしゃったようないろいろな施策も、この問題を解決すればほんとうにいろいろな意味で、全ての小金井市民がにこにこして手をつないで、西岡市長の再選はもちろんのこと、今後の小金井の将来について明るい顔で、毎日笑顔で生活できるなと思いますので、何とぞぜひよろしく願いいたします。

○西岡市長

たくさんのご意見やご要望いただきました。東京都の第4次優先整備路線の関係でございます。3・4・11号線と3・4・1号線についてのご意見だったかと思います。今年の3月11日に、窓口が東京都の事業でございますので、東京都が主催してまいりました意見交換会はこれまで3回にわたって行われてきたわけでありましたが、その状況を担当職員から報告を受けました。私といたしましては、この意見交換会を引き続き継続をすべきであるという考えに立ちました。したがって、私自身も東京都を訪問いたしまして、さまざまな私の意見を都庁に直接伝えてきました。その中には、私が直接都庁に申し上げた要望書の3回目になるわけでありましたが、小池東京都知事自身も現地をごらんいただいて、ご自分の目で見ていただきたい、ということは申し上げたところであります。

今、陳情書が市議会で議論されているところでございますので、引き続き市議会の皆さん方からもさまざまなご意見をいただきながら、この件については、私が、これまで何度もこの道路問題について私なりの考え方を申し上げてまいりました。その考え方は今も変わりません。地元への配慮がなければ、この事業については両路線とも希望することはな

いということをはっきり申し上げてまいりました。さらに、都市計画マスタープランは市民参加によってつくられてきたものでもあり、行政の継続性の観点からも尊重する立場があります。3・4・11号線については、その中には整備推進を要望、並びに3・4・1号線につきましては路線変更などの可能性についての検討をうたってございます。

なお今後、この都市計画マスタープランを今すぐ改訂する、修正することは難しいと思いますが、もう間もなくこの都市計画マスタープランの最終年度が迫っておりまして、新しい都市計画マスタープランの策定に向けた準備が令和元年度にスタートいたしますので、引き続き市民参加によってこの都市マスの策定作業は進めさせていただきたい、このように思っております。

○司会者

つい先ほどいらっしゃった方がいらっしゃいますので、改めて申し上げますけれども、本日はフリーテーマという形で進めております。今の意見についての話でもいいですし、全く別のお話でも構いませんので、そのほかどなたかお話のある方は挙手をお願いいたします。

○市民H

Hと申します。3年半前に市長が市長に立候補したときに、市長の考えとして、小金井市は市民力を、というお話があって、その市民力を使い切れているのか。それからそういう施策が推進されているのか。例えば市民協働という考えがありますがけれども、小金井市の中では市民協働という大きな条例がなく、市民参加という中で扱われていると。ちょっと周りの市町村で元気なところを見ると、市民協働というのは非常に大きな条例として使われていて、市民の力を大いに使っていきたいと思います。そういうのは、話が長くなりますけれども、小金井市を一つの経営体とすると、従業員が1,000人いて、年間予算が四百何十億で、顧客が12万人いると。それをマネジメントするのに今の体制だけでやっていけるのかどうか。その3年半前と今と、それから今年の12月と、考えて、どんなものなのでしょうか。感想を、大体でもいいですけれどもお聞かせください。

○西岡市長

非常に奥の深いご意見でございます。私は小金井市の魅力や持ち味や特徴、いっぱいあ

りますね。先ほど来から出ておりますように、東京の中心部で地の利はすばらしいですね。そして自然環境豊か。昨今小金井はシティプロモーション基本方針というものをまとめたのですが、「ほどよく都会、ほどよく田舎」。それはいいことです。小金井市は住宅都市、住むまち、人が育つまち、いろいろなご意見いただいています。また大学の多いこと、若者が多いこと、元気な高齢者が多いこと、いろいろ特徴があります。NICTがあつて日本の標準時刻をつくっています。時が生まれるまちであること。たくさんの魅力、特徴がある中で、市民の力や地域の力が高いというのは、小金井市のすばらしい持ち味だと思います。

例えば昨日も行いましたが、PTA連合会、保護者の方々の力は大変すばらしいですね。学校や家庭ではなく、PTAとして取り組んでいる取り組み内容は大変、私は地域にとって大いに貢献してくれていると思います。今日、この会が始まる前には、学童保育の連絡協議会、9つの学童保育があるわけですが、その保護者の方々の代表の方々が一同に会しまして、総会をやっておりましたが、このいわゆる保護者会の方々の力がとても大きくて、行政や各家庭ではできない、その保護者会の方々が集まるからこそできるたくさんの事業があります。

また、例えばでありますけれども、これもHさんにも出ていただいているのですが、小金井市のごみ減量推進協議会の皆様方には、行政指導ではなく、事業所の方々のリサイクル推進協力店の確保拡大は、その減量推進協議会、市民の方々が直接スーパーなどを訪問されて、店長さんや経営者の方々を説得してリサイクル推進協力店として協定を締結していただいております。

このような例は枚挙にいとまがないのですが、小金井市は市民の力や地域の力がとても高いまちです。そして、一方で町会や自治会などの加入率は年々やはり低下をしています。人口も増えておりますけれども、やはり地域のコミュニティーが、そしてすばらしいコミュニティーが現存しているものの、何となく二極化が進んでいると思います。そういうコミュニティーの中で生活している方、その拡大をして努力されている方と、やはりそういうコミュニティーの希薄さの中で生活している方もいらっしゃいます。いざ災害が発生したときには、そのコミュニティーのありようというのはいろいろな効果、影響が及ぶと思っています。そういう状況の中で、私としては市民の方々には、どのようなことでも結構なので、やはりいろいろなサークルや地域活動やNPOや、いろいろな活動、自分がこれをやってみたいと思う活動、1つでも2つでも参加をしていただきたいと思っています。

そんな中で今Hさんがおっしゃっているのは、行政と市民がどうつながるのかと、どうつながっていったらいいのだろうというところだと思います。私は、まだまだ道半ばでありますけれども、小金井市が取り組んでいる市民参加、市民協働、いろいろなものが今、少しずつ動き始めてきた、胎動が生まれているのではないかなというふうに考えてはいます。行政の私たちも、何か例えば新庁舎・（仮称）新福祉会館建設という大きな事業をなすときに、単に行政だけで決めてしまうのではなくて、可能な限り市民参加、市民協働、市民の方々の声というものを生かしたいと思っておりますし、いろいろなアイデアや知恵をお寄せいただきたいと思っておりますし、私が市長に就任させていただいて、もちろんまだまだ至らない点はありますけれども、各部や課で事業を進めるに際しましては、市民参加公募による審議会の設置だけではなくて、直接こういうワークショップ形式で市民の方々と意見交換を積み重ねながらの事業を進めていこうという手法が少しずつ浸透してきたというか始まってきたなと思っております。

これは市民の方々のそのお力というのは、私はシビックプライドのあるまちというようないいまちだと思っておりますが、シビックプライドというのはただ住んでいるだけで芽生えるものでは決してないと思っております。その中に、つまりその市民のまちへの誇りとか愛着というものは、いろいろなみんなで力を出し合うことによって本物のシビックプライドというのは芽生えてくるというふうに思っておりますので、この市民参加、市民協働を進める最大の意義というのは、私の中の1つの柱としては、小金井市への愛着や誇りを感じていただけるシビックプライドの醸成にもつながるような、そういう市民参加、市民協働を目指したいと思っております。ただ、正直申し上げれば、まだまだ始まったばかりです。試行段階だなと感じています。

○市民H

勝手言って1ついいですか。市民協働の例えば小金井市の文章には、行政と市民は相手の立場を尊重して、という文章があるのです。この文章がある限り、市民と行政は結びつかないのだろうと。相手の立場というのは、自分たちの言い分は絶対に崩さないよというように聞こえるので、その辺から改善していくと、いいまちになるのではないかと期待しておりますので、これはやはり市長のリーダーシップがそれを可能にさせるのだと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○西岡市長

1つ、今のご意見で、具体的なこと申し上げますと、小金井市にはたくさんの公園があります。小金井市は市民一人当たりの公園面積が東京都内では非常に高い、上位に位置しています。この辺は都立公園の関係ですね、そして開発マンションや大きな分譲住宅が誕生いたしますと、提供公園という公園もたくさん誕生いたします。しかしながら、なかなか有効に活用されていない公園もありまして、ほとんど人が入らない公園もあります。また、たくさんあるものですから、正直申し上げまして十分な予算が行き届かず、緑が適正に管理されず、雑草が生えてしまったりして、今、この公園の管理のあり方につきまして、まさに市民の方々に花壇をつくってもらったり剪定をしていただいたり、公園の管理について市民参加による動きが始まってまいりました。全体としては公園等整備基本方針というものをくり上げまして、これからの公園のあり方について、これは市民のワークショップを経て考えてきたのですが、全ての今の公園を維持し、そしてこれからもどんどん開発が行われてくる中で、提供公園を受託し続けていくと、公園の数は増えるかもしれませんが、その管理が、財政や、予算や、いろいろ考えると、ここはやはり長期的なスパンで公園のあり方を真剣に考えなければいけない時代に来たと思っております。

その中で公園の管理についても、単に行政だけが年に何回かのお掃除に行くとか剪定するだけということではなくて、日常的に近隣地域の方々に、その公園や花壇、いわゆるお花などについてもみんなで話し合っていて、地域に喜ばれ地域の方々に親しまれる、そういう公園整備を目指していきたいと思っております。基本方針をくり上げましたので、今年からは、その市民協働も念頭に置いた今後の公園のあり方について考えていきたいと。市民協働、市民参加をなす上では、この公園との関係も非常にわかりやすくいいと思います。この公園の管理をすることによって、地域の方々と顔の見える関係というのでしょうか、こういったものをつくりたいし、子どもたちが遊び、高齢者の方々がベンチに座っておしゃべりをしたり楽しんだり、そういう小金井らしい公園の管理のあり方というのをこれから模索していきたいと思っております。

○市民 I

議会なのですけれども、よく傍聴に来てくれ、来てくれということは何度か言われたりしているのですけれども、結局自分は腰が痛くて4階まではとても上がれないんです。上がった後はほんとうにきつくてきつくて、二、三日寝込むような状態になってしまうので、

できれば、すぐというわけではないのですけれども、例えば、仮のエレベーターって、よく外側にできているじゃないですか、いろいろなところで。そういうのは何とかならないかと。それか、例えば傍聴に来てほしいときだけでもいいから、こちらの庁舎でエレベーターがあるところでやっていただけたらとか、何かそういう方法で。

市民の人たちが、自分が選んだ人がどういうことを言っているかというのをわかってほしいのです。ほんとうにわかっていないと思うのです。自分たちが選んだ人が何を言っているかをわかっていないと思うので、できればみんなが行けるような設備にしてほしい。何しろできてからというのでは間に合わないと思うのです。だから何か緊急に、それこそ車椅子の人でも行けるような設備に何とかしてほしいのです。お願いします。

○西岡市長

今のご質問者のご意見というのは、現在の本庁舎ですよ。エレベーターを設置すべきだと。非常に難しいテーマです。私も、健康にはとてもいいので、議会中は一日何往復もしますが、足の不自由な方や車椅子の方からすれば、4階まで手すりを使って上っていくというのは、非常に困難です。

○市民 I

絶対行きません。

○西岡市長

もちろん車椅子の方も傍聴に来られますから、そのときは職員がみんな力で合わせて車椅子を抱えて運んで対応してございます。私は今から約20年前に小金井市議会議員として活動しているとき、まだそのときはこのように庁舎問題というのは具体的な計画は何もなかった時代ですけれども、エレベーターをつけられないか、いろいろな検討をしていただきましたが、構造的、また相当な財源がかかるということで、非常に困難ということでした。現状はもし杖をついた方や足の不自由な方や車椅子の方が来られて、小金井市議会を1回傍聴されたいという方が来られた場合は、市の職員や議会事務局の職員の方々と力を合わせて、一生懸命対応はさせていただきます。

○市民 I

おぶって行ってください。

○西岡市長

はい。一生懸命対応いたします。

なお、新福祉会館は先行竣工する予定でございますので、過去の建設調査の結果では、令和4年度開業、庁舎は令和5年度開業という予定でしたが、今後この基本設計を進めていく中で、さらに工期というものが詳細に決まっております。早期竣工というものももちろん目指さなければいけないと思っておりますので、一日も早く開業できますように努力をいたします。それまでの間は私ども職員が一生懸命対応いたしますので。

○市民I

そういうことは言っていないとわからないので。

○西岡市長

どうかお許しいただければ。申し訳ないのですけれども、今エレベーターを本庁舎に設置するというのは、残りの使用期間が4年ぐらいと想定いたしますと、そこに仮につけられたとしても相当な金額がかかりますので、それがほんとうにいいことなのかどうなのかというご意見も出てきますので、どうか、すみません。

○市民I

それでしたら、今、議会だよりというのがございますよね。あれで自分が選んだ人が何を言っているかというのをわかってほしいのです。自分が選んだ人を見てほしい。議会で何を言っているか。ほんとうに議会ってひどいですよ、はっきり言って。行けばすぐにもう閉会とか、年中そうなので、やっとなこと4階まで上がっていったら、ただいま休憩中、年中休憩中です。もうそんなのはほんとうに、聞いていて、やってられませんから、1日無駄にして。

○市民J

休憩はなくなりましたよ。

○市民I

なくなりました？ よかった。もう最近行かないんですよ、痛いから。

○市民J

私は議会でどなりました。どなったら、その次から休憩がなくなりました。

○西岡市長

今の議論ですが、市議会のご議論でございまして、私からはコメントができないという状況でございます。しかし、Y o u t u b e、インターネットで今、本会議や委員会は常に生中継していますね。

○市民I

それを言われても、Y o u t u b e なんかできませんよ。

○西岡市長

それから録画配信もされておりますので、パソコンで後日見ることも可能とはなっております……。

○市民K

今に関連していいですか。市長は議会の運営に改善をしてくださいということをお願いすることはできないのですか。市長の立場では議会には手を突っ込めない。

○西岡市長

二元代表制ということで、行政と市議会は二元代表制と、ときに車の両輪と言われる場面、必要というご指摘もありますし、チェックアンドバランス、市議会の方々は議会をチェックしていく機関で、議決をする機関ということになります。正直申し上げますと、私も市長として市議会の皆様方に議会運営について何か具体的な要望したり改善をするということは、これまではありませんでしたし、現時点におきましても、やはりそこは議会運営となりますと、市議会の皆様方の権能ということになりますので、議会の方々の運営については私のほうからはなかなか申し入れをしたりするのは非常に困難ということになります。

す。

○市民K

残念ですね。議会の話なので、今日の話ではないのでしょうかけれども、小金井の議会は時間が長いですね。予算委員会なんて深夜までやっているというのは健全じゃないなど。それは市長も拒否したらどうですか。

○西岡市長

そういうお声をお寄せいただいているということは、市民の方からときにそんなご意見も耳にすることはあります。行政として常に肝に銘じなければいけないのは、法令などについては簡潔にわかりやすく、ときに議事進行に責任を持たれている委員長などの皆様方からさまざまなご指摘をいただくことも多いので、答弁するに際しましては、お答えするに際しましては、可能な限り簡潔明瞭にわかりやすく答弁できるように努力をしなければいけないと、常々肝に銘じております。

○市民L

夕べ、タブレットを見ていたら、世界各国の自分の国に対する愛国心、あれは日本が極端に低いですね。三十何位ですよ。ということは、小金井市を愛するという気持ちってさらに低いんじゃないかと思うのです。だから、安倍さん始めいろいろな人の愛国心というもの、国を愛するという気持ちを涵養するという気持ちのある議員さん、政治家は多いのだと思うけれど、それは自然にね。だけど、小金井市を愛するというのはとても難しいんですよ。難しいんだけど、何らかの機会を捉えて、小金井を愛するという郷土愛、お祭りでもいい、何らか勉強会でもいい、そういったようなものを盛んにすれば、もう少し、これだけ小金井に頭のいい人が腐るほどいる、そういう人たちのお知恵を拝借できるのではないかと思うのです。だからそういうようなきっかけを、小金井市でもってやっていただきたいなと思うのです。

○西岡市長

大分若い方が海外に行かれて、現地の方から自分の国のことを聞かれたときに、他の海外の国の方々というのは比較的自分の国での、先ほど申し上げたようなシビックプライド

というような誇りであるとか愛着心だとか、そういったものを強調されるようですが、どうも海外の方から見た日本人というのは不思議に見えることがあるようです。いろいろと国に対する信頼といたしましょうか、少しく、希薄していないかなというふうに見えることがあるようですね。そんなことを聞いたことがあります。

小金井市ではそういう意味での調査をすることはないですけども、先般、数年ぶり、多分4年ぶりかと思いますが市民意向調査というものを昨年度実施しまして、その回答をまとめてホームページなどに発表しました。その中に重要な指標があります。1つは、小金井市は住みやすいですかという質問と、小金井市にこれからも住み続けたいですかというご質問があります。住みやすさというのは満足度になると思いますし、住み続けたいというのは、今ご質問された方がおっしゃっているような、郷土愛と直接結びつかないかもしれませんが非常にそれに近い、住み続けたいということはそれだけ愛着があるというふうにも受けとめられます。「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」という数値が84%台で、この数値は前回の数値よりも9ポイントぐらい増えました、住みやすさについては。定住したいか、できれば定住したいという数値がちょうど80%でありました。

市長といたしましては、この満足度と定住志向の数値を上げていきたいとは思いますが。2つとも前回に比べますとこの数値は伸びたはずですけども、正確に申し上げますと、小金井市の市民意向調査、住み心地、「住み続けたい」「できれば住み続けたい」、対象者、18歳以上の市民2,000人、回答率31.5%、629名の方々の回答でございます。先ほど申し上げましたように、住みよさというものについては84.5%、定住したいという数字は80%でございましたので、この数字は市長としては非常に重視しております、さらにこの数字が向上できるようにさまざまな施策に取り組んでまいりたいと思っております。

○市民L

ただ、住み心地がいいというのと郷土愛って、似たようなニュアンスですが、違うと思うのです。住み続けやすいというのは便利だとか、何かちょっとずるいんですよね。緑は多い、だけど落ち葉を掃くのは嫌だ。それなら住み心地がいいとか何か言うんで。小金井の郷土愛というものとはちょっと違うんじゃないかという気がするんだよね。僕が言っているのは郷土愛を育てたいという気持ちなんですよ。

○西岡市長

おっしゃっていることはよくわかりますし、私も今日、同感であります。しかし、やはりこの満足度と定住志向というのは、このデータはこれで大切でございます。今質問者の方がおっしゃっているようなまちを愛する心というのはまさに郷土愛につながっていくところなのですが、この思いを多くの人たちに持っていただきたいと思います。

○市民M

いつもこの市民懇談会のために、自然環境とかについてのご質問が上がったりするのですけれども、そのときにこの予算の概要資料を見ると、ほんとうに都市公園というのだけしか自然にかかわる予算が、自然を守るというところがそれだけしかないのかなと思ったのです。

もう一つは、先ほどトイレとか授乳室とかそういう問題のことをおっしゃっていましたが、トイレ増やしてほしいというようなご意見があるのですけれども、今、公民館とかに和式のトイレが多いですね。洋式にかえたりはされていますけれども、まだまだ和式のトイレが残っています、それは古いままで。新しく建っているものについては洋になっていたりするところもありますけれども、実際は和式があったほうがいいのでしょうか。和式が使えない方もいらっしゃると思いますが、それも含めてトイレの数を考えたほうがいいのかと思っています。例えば災害で地震などが起こったときには公民館とか市役所とか、そういうところに人が集まると思うのですけれども、そのときにトイレの水とかどうなるのかなという心配があって、それもちろんと計画の中に入っているのか。赤ちゃんとかが市役所に行ったときにきれいなお水があってきちんと対応ができるのか、そのあたりも考えていただいているのかな、入れていただきたいなと思っております。

3つ目なのですが、予算の中で手話通訳等にタブレットを使うという予算が入っておりますが、以前市報に載っているのを見たときに、そのタブレットが6台というふうに書いてあったのです。その6台というのはどういう考えで6台なのか。またその手話通訳等の対応するときに手話通訳をお願いするというので、通訳をお願いするときどこに頼めばいいのか、タブレットを使って手話通訳を受けるのがどこに依頼しているのか、それとももう既に依頼してしまったのか、伺いたいです。タブレットを手話で使うというのを見たときに、とってもびっくりしたのです。私たちに何もそういうヒアリングなどないまま、こういうことが載っていたので、きちんと、どのような相談をされたのかとか、

そのあたりの状況もちょっと伺いたいです。

○西岡市長

大きく3点ですね。小金井市が取り組んでいる緑化政策や緑の保全などについて、この予算書を見るとあまり強調されていないしわからない、ということでありました。実際どうなっているのですかということでもあります。

今日は正式な予算書はこちらに持ってきていないのですが、ここに出しているものは主に新規事業に絞ったような形で出しています。実際小金井市の予算は一般会計予算が約440億円、国民健康保険や介護保険、下水道事業、後期高齢者医療で全部で4つの特別会計プラス一般会計含めると、大体年予算で670億円ぐらいになります。その中で緑の政策にかかわる予算というのはそれなりの金額になりますが、具体的に申し上げれば、小金井市の緑被率というのはやはり現状を何とか維持したいという目標を持っておりますが、現実には都市農地の減少、相続税などによって屋敷林などが減少しているということで、下降傾向にあります。最近緑を見える化、見える緑を増やそうという動きもありますし、小金井市ではブロック塀を生け垣にかえるような助成制度なども適用しております。正直申し上げまして、緑の緑被率を増やしていくというのは、今のこの社会情勢の中ではなかなか難しい側面もありますけれども、私市長といたしましては、さまざまな制度を活用して小金井の緑地を保全していきたいと思っております。

その具体的な取り組みの一つが、都市農地を、都市農業を残していくという取り組みがあります。この間、生産緑地の指定要件を500平米から300平米に緩和をしたり、国の法律の改正で都市農地があるべきものということで、その根本スタンスが大きく変わりました。それから農業生産者の方々は、ご自分の大切な財産である農地を、法律が大分変わりました、株式会社にお貸しをして、市民農園としても活用できるようになったり、今までの制度が随分緩和をされております。私は、農業、商業、福祉、農・商・福の連携というのを小金井市でぜひやっていきたいと思っております。農地を何とか保全していけるということをまず一生懸命目指していきたいと思っております。

その中の具体的なもう一つの取り組みが、小金井市で生産される地場産野菜、小金井産野菜を学校給食に取り入れるという政策の取り組みを進めてまいりました。私が市長に就任する前の平成27年度は、学校給食、公立小中学校14校で使っている野菜の活用率は3.5%でした。昨年平成30年度は13.39%に増えてまいりました。今、各小中学校

14校を順番に回って、子どもたちと一緒に給食を食べています。もう11校になります。あと3校で全校回りますが、子どもたちが給食を食べている様子、そして地場産野菜がどんなお料理に活用されているかを自分でも食事をさせていただきながら見せていただいております。農業生産者の方々も、地元の野菜を地元の子どもたちがおいしく喜んで食べるというのはつくりがいがあるとおっしゃってくれています。こういったことも都市農地、都市農業を保全していける取り組みの事例の一つだと思っております。

ちょっと時間の関係もあって、緑全体の予算を説明することはできませんけれども、現実には非常に厳しい状態でありますけれども、こういったさまざまな取り組みを実施しながら、小金井の緑、緑地を守っていけるように努力したいと思っております。

2点目が、主にトイレの関係でございます。今、和式しか使えないという方っていらっしゃるのでしょうか。基本的にはもう洋式を目指しているのが現状です。新しく作る公共施設はもう和式のトイレというのは設定しません。その全てが洋式であります。そして今和式として残っているトイレについては、順次洋式にかえていきます。

その中に今進めているのは学校です。小金井の小中学校には、大分建物が古いわけですが、その昔ほとんどが和式トイレだったわけです。これをドライ化といってトイレ全体をきれいにするやり方もありますし、また和式便器の上にかぶせて、簡単にできる、あまりお金をかけずにできる洋式化というのがありますが、その方法もあります。今、小金井市では今年度前原小学校と東中学校のトイレを、全部ではありませんけれども洋式化にかえますが、今学校を中心にトイレの洋式化というものを進めているところであります。

公共施設におきましては、公民館などまだまだ洋式化として十分改善されていないところだというお声は私の耳に届いていますので、今後トイレ問題というのも非常に大きな課題でございますので、またご高齢の方々が増えてまいりますと、やはり和式というのは大変しんどい、課題があるというように聞いておりますので、努力してまいりたいと思っております。

なお、新庁舎・（仮称）新福祉会館につきましても、トイレにつきましては福祉の視点というものを十分加味してつくっていきたいですし、先ほどご意見があったような授乳室、赤ちゃん休憩室、おむつ交換、こういったことも視野に入れながら、トイレの充実には努めてまいりたいと思っております。

それから3点目。手話のタブレットにつきましては、小金井市役所第二庁舎の1階、2階、福祉の関係で窓口に来られる方々、庁舎で5台、窓口のモニターですね。そして保健

センターに1台、合計6台のモニター設置いたします。これは手話を必要とされる方が来られますと、こちらインターネットの回線がつながっておりまして、センターとつながりまして、手話通訳者の方と、市の窓口の職員と、市民の方と三者で手話を通じて、通訳を入れながら会話、さまざまなコミュニケーションをとっていくものであります。この事業者は、私も全国手話言語市区長会に入っておりますけれども、その中でも紹介された事業でございまして、手話を必要とする方々の協会の方々もご理解いただいている事業所であるというふうに認識してございます。

ただ、この導入に際しまして、小金井市民の方々との事前の説明会などはなかったという点についてはお詫びを申し上げたいと思います。まことに申し訳ございませんでした。ただ、国レベルといいますか、全国レベルの組織の方々からご推奨もいただいている、そして実績もあるポータブル機能と伺っておりまして、この予算はもう令和元年度に措置いたしましたので、今年度中に、第二庁舎で5つのフロア、それから貫井北町の保健センターに1台、合計6台のモニターを設置させていただいて、お客様が来られた場合に接続をしていただいて、このセンターは東京のどこにあるのかはちょっと私はわからないのですが、おそらくそこには手話通訳者が何人か待機をされていて、画面を通じて、インターネットを通じて直接つながるという仕組みなのです。

小金井市の団体の長を今務められていると思いますので、担当のほうからご説明をさせていただくように、私から明日お伝えさせていただきたいと思います。説明をさせていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○市民M

わかりました。ありがとうございます。

○司会者

そのほかございますでしょうか。時間が限られてまいりますので、初めて発言される方いらっしゃいましたら優先にしますけれど、大丈夫でしょうか。では、先に初めてのの方から。

○市民N

お時間とりましてすみません。東町から参りました。私まだこちらのほうに住まいだし

て3週間なのです。なので、各地といいますか市内を毎日、だいたい往復2時間ぐらいかけて、はけの森美術館ですとか、あと銭湯がありまして、いろいろお年寄りのお話を伺ってご一緒させていただきましたけれども。

1つ伺いたいのはごみの処理です。関心を持っていらっしゃる。不燃ごみなのですが、具体的にはプラスチックや不燃物は、どのように処理なさっていらっしゃるのですか。

○西岡市長

不燃系のごみはプラスチックも、まずその前に小金井市へお越しいただきましてありがとうございます。ようこそ小金井市へ。そして小金井市に住まわれて、きっとごみの分別が非常に厳しいので驚かれたことと思います。今、12種類の分別ですので、14種類、16種類、12種類ですね。小金井市はごみの分別が非常に厳しい自治体であります。それは先ほど申し上げましたようにごみの減量を行っているし、資源循環型の社会を目指している関係でございます。そして、その努力でごみの一人当たりの排出量が全国で一番少ないということ、リサイクル率も全国1位となったことはすばらしい取り組みであります。

今、小金井市だごみカレンダーというのを全戸に配付しておりまして、多分市役所でもらったと思いますが、こちらのごみカレンダーも非常に評価をいただいているものでございまして、これは長年廃棄物減量等推進審議会の方々や環境問題に関心のある方々からいろいろなご意見をいただいて、子どもたちの絵を取り入れながらつくっているごみカレンダーであります。小金井ではあのごみカレンダーを日常的なカレンダーにしている人がとても多く、私もそうです。あのカレンダーを使っております。この中かなり詳しく分別やごみの出し方などについて書いてありますけれども。

○市民N

内容はもう皆さんご承知でいらして、実はその後、どのようにリサイクル、具体的に。

○西岡市長

プラスチックごみにつきましては、小金井市は今、民間事業者のほうに処理をお願いさせていただいております。プラスチックごみについては、その先どういう方法でリサイクルするかというのをかなりきめ細かく分かれています。小金井市といたしましてもその処理を民間事業者の方々にお願いしているという状況でございます。小金井市では清掃関係

の基本計画というのがございまして、もしご関心がおありでしたら、ぜひ小金井市役所第二庁舎の4階にごみ対策課というところがありまして、その職員が大変詳しいので、多分基本計画をめぐっていてもなかなかその場所にたどりつくのが大変だと思いますので、遠慮なく職員のほうに聞いてみていただいて、正しいことを具体的にこの民間事業者から何をどういうふうにもリサイクルしているのか、実はペットボトルにつきましてもいろいろな製品にかわっていったりします。びんなどについてもいろいろな再利用をしておりますので、ぜひ担当職員に聞いていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

○市民N

経費として計上なさっているのですが、既にリサイクルということで収益化というのはなさっていますでしょうか。プラスチックを例えば燃料にする、布であれば……、そういったことです。

○西岡市長

一部そういう形で結果的に収益化となっているような事業もあろうかと思っておりますが、小金井市の場合、基本的には、これも市民の方々のごみ袋を買っていただくその収入と、小金井市が投入する税金とで事業者の方々には処理をお願いするというので、小金井市が独自に収益事業を上げているというのは今のところないです。

○市民N

私は今、9軒目なのですけれども、実は、今までずっとごみが無料だったわけです。今まで住んでいた土地が埼玉県でワーストだったものが、だんだんごみを、プラスチックは燃料化しましてそれを事業者に売るという形で増収ですね、益がありまして、大体これが20万を超える人口で市内の人口がそのぐらい、年間の収益が4億を超える感じで、市長の庁舎建てかえとかいわゆる改修工事、そういったものに収益として回せる。しかもそのごみ処理費用がかからないということで、こちら15ページに可燃ごみ処理と回収経費、この環境共同組合や、こうしたものが全体的に減ってくるかと思うのです。半分までいかないと思います。これ、燃えるごみですからね。ですので、まずプラスチックなどの回収費用は減らないと思うのですが、収益化ということ。

あと、命題としまして16ページの生ごみ減量化費用が大体1,500万なのですけれ

ども、負担という意味で若干その市民に負担がかかっているわけなのです。市としては財源の大幅なカットになると思うので、できましたらこういったものを、全国的にも初となりますが無料という形で、そういうことにすると結局、利用者が増えますので、ごみが減っていくのではないかと考えております。ごめんなさい、続きます。

○西岡市長

大丈夫です。

○市民M

いいですか。このごみのお願いとですね。あと、お子様の子ども食堂推進事業、25ページなのですけれども、こちらで年間60万ということで、これ団体となっておりますが、おそらく個人でなさっていらっしゃる方、私がこの3週間の中で見回った限りで、定年退職してからカフェでお子さんが誰でも来ていい、貸し出しもなさっている、いわゆるカフェですね、ブックカフェというのをなさっていらして、全く個人でなさっていらっしゃるのです。そういったこともありまして、団体ということにこだわらず、何かしらもう少し金額も増やして、子どもの居場所づくりですね。今まで子ども食堂の活動を私はしていたのですが、そういうふうな動きが広まっていけばいいなとちょっと願っております。

○西岡市長

貴重なご意見ありがとうございます。

○市民M

それで、そういったことで先ほど愛着とありましたけれども、小金井市でお祭りというのはありますでしょうか、市民の。

○西岡市長

たくさんあります。

○市民M

では、ぜひ、そういったのでよろしく願いいたします。失礼いたしました。

○西岡市長

ごみを資源として自治体が収益を上げていくということについてご意見をいただいたところでございます。大変貴重なご意見だと思っておりますので、ぜひ他市の事例は参考にさせていただいて、これから考えていかなければいけないことだと思っております。

また小金井市は、ごみの減量をする上で、生ごみも非常に大きな課題となって、ご承知のようにごみの処理費というのは重さで単価が決まっているんです。燃やすごみの重さでいくと、生ごみの水分が非常に重くて、できれば乾燥していただくか生ごみを堆肥にさせていただいて、燃やすごみではなくてお野菜をつくるための肥料として活用していただくということは大変効果があります。その中で小金井市は生ごみ減量化処理機ということで、この処理機の補助制度をかなり充実させてきました。相当な方々にいわゆる生ごみ堆肥化装置をご購入いただいて、ご自宅でいろいろなことに挑戦していただいて、自宅のお野菜、家庭菜園に有効活用してもらっています。これをもっと、無償にしても、というご意見です。わかりました。参考にさせていただきたいと思います。

○市民M

実は今までも奨励なさってしまして、それが大きかったんです。10キロの土が必要な「ベランダdeキューロ」という結構大きな堆肥ができるものなのです。

○西岡市長

小金井市はこの生ごみ処理機を持っている家の率は結構高いと思っております。また、ご家庭でできるのはちょっとした水切りですね。それでも随分ごみ処理費用には影響が出ますので、ぜひ広めたいと思っております。年に何回か職員が駅に立って、水切りネットを配ってごみの減量などを訴えかけているところであります。

それから2つ目に子ども食堂です。これは子ども食堂への支援というのは、予算措置したのは今年度が初めてでございます。全部で5団体の方々を補助する予定でして、この点につきましては今後とも拡大をしていきたいと思っております。そして今ご指摘がありましたように、個人の方が個人の事業で主に子どもたちを、ということで支えていただいているボランティアの方も、その全ては把握できていないかもしれませんがいろいろな取り組みをしていただいている方が大勢いらっしゃると思います。そういった方々をこれから小金井市

としてどういうご支援がいいのか、しっかり考えさせていただきたいと思っております。

お祭りは小金井も非常に盛んでございまして、たくさんのお祭りがあります。各町会、自治会、いろいろなイベント行事もありますし、小金井市の1年間を通じてもう毎週のようになんか事業が行われております。3週間前に小金井市にお越しになられたということでございます、7月の最終土曜日にやるのが小金井阿波おどり大会というのが武蔵小金井で開催をされますので、ぜひごらんになっていただければと思います。たくさん子どもたち、市民の方々が大勢、私たち総出で沿道に出でございまして。

小金井で一番大きなイベントは、やはり小金井桜まつりですね。今年も天気が日曜日よかったです、土曜日がたしか5万人、日曜日は11万人、16万人の方々が来られたということです。小金井市は桜が非常に有名でございまして、桜にちなんでいろいろなイベントなどが頻繁に行われております。お楽しみください。

○司会者

あと1つか2つぐらいになろうかと思っております。

○市民○

この場にいられたことに感謝です。今、お話を聞いていて、小金井はほんとうに人口が増えております。私も市報をよく見ていて、「あっ、今回も増えているわ。こんなに増えている」と。もちろん私の地域にもたくさん住宅地ができております。やっぱり先ほどの話の中で、町会、自治会が減少している。それから郷土愛をもっと育てたいというお話もありました。これって共通のものがあると思っております。新しい庁舎ができる。いろいろな建物ができるのに、ほんとうにうまくかみ合っていないところでは、これから市長さん及び小金井市のまちづくり、さっき「お祭りあるのですか」というご質問ありましたが、そこをうまくつなげてあげられると、ほんとうに今、皆さんがディスカッションしている中で1つは解決できるのではないかなと感じました。庁舎が大きい建物で立派だな、で終わらない方法、もちろん住民参加、市民協働というお話がありましたが、これからの市長さんに期待しております。以上です。

○西岡市長

貴重なご意見ありがとうございます。古くから住んでいる市民の方と小金井市に新しく

住まわれた方を融合するといいたいでしょうか、結ばれるといいたいでしょうか、人ともそうですし地域ともそうですし、そして、そのコミュニティーも芽生えていくということだと思います。今度のこの庁舎につきましては、ただ建物をつくるのではなく、そこにやっぱりいい魂が入らなければいけないと思います。市役所で働く職員、福社会館サイドで働く職員、そして利用する市民の方々がしっかりとネットワークをつないでいく。そしてそこに行けばもちろんさまざまな事業、サービスとも出会うだけではなくて、人と出会える場所にしたいと思います。

この事業所の方々、この資料の中を開いていただくと、小金井ひろばといったようなものもありますし、みんなが集まりたくなる小金井ひろばがまちとつながる。理念、とても大切な理念ですね。小金井市がつくり上げた基本計画に沿って考えていただきました。ここがご指摘のようにごもっともでありまして、私たちが目指すのは単にオフィスビルをつくるのではなくて、そこに人と人との出会いや学びや気づきやネットワークやきずなが生まれる、そういう魂が入ったいい施設をつくり上げていきたいというのが私の本心ですし、そうでなければいけないというふうに考えているところでございます。今後、ワークショップやこがねいミーティングという会議体の設定をいたします。たくさんの方からいろいろなご意見をいただきながら、よりよい施設をつくりたいと思っております。ありがとうございました。貴重なご意見いただきましてありがとうございます。

○司会者

それでは次で最後にさせていただきたいと思いますが、どなたか。もう一回よろしいですよ。

○市民P

すみません、一言だけ。さっき、小金井の魅力は何だろうかという話が出て、私は何といっても小金井の魅力は自然だと思うのです。そういう意味で市長のほうから、小金井市としても緑の保全について努力をするというお話、非常に心強く思っておりますけれども、そういう意味でも緑を破壊する道路はぜひストップするようにお願いしたいと思います。

ちょっとご参考までに、緑の保全との関係ですが、たまたま私どもは海外生活長かったのですが、そのうちの一つがスイスにいたときに、我々が聞いた話では、普通の個人の家でも1本の木を切るだけでも許可が必要だということです。そのくらい、緑というか自然を

大切にしている国もこの地球上にあるわけで、我々日本としてもぜひそういうことも参考にできればと思います。よろしくお願いします。

○西岡市長

ありがとうございます。市長に就任させていただいて3年5カ月間の間に随分たくさん植樹をしました。さっきも言いました小金井桜も何本も植えましたし、木を植えるという、緑を創出する、守るという緑もあれば新たにつくるという緑もあると思っています。そんな中でも一つ皆様方にお知らせをいたしますと、5月19日日曜日、来週ですね、滄浪泉園というとてもすてきな庭園がございます。そちらは本当に有名な財閥の方が持っていた別荘の庭園が東京都に移管をされて、今、小金井市が管理をしている庭園です。国分寺崖線に沿ってちょうど小金井警察署のやや南、ここは本当にすてきなところなんです。中に入りますと湧き水によって形成された池、そして森があります。この滄浪泉園という名前は元首相の犬養毅首相がつけた名前であり、犬養毅さんが書かれた字が石碑になっています。

この庭園が開園して今年で40周年を迎えるということで、5月19日午前10時から開園40周年記念式典というのがあります。以前ここに梅の木が3本あったそうです。しかし何らかの理由で、多分老朽化でしょうか、老木だったので、このとてもすてきな見事な梅の木、何らかの理由で伐採をしたので、緑も老朽化するんですね。今度40周年記念なので、そのもともと植えていたという場所に市民の方と一緒に3本の白梅の植樹や、あの中で見つけたカブトムシの幼虫を子どもたちに配ったりと、いろいろな仕掛けがございます。

この令和という元号、皆さんご承知のように万葉集の「梅花の歌」からとられているということでございまして、令和になったから梅の木ではない、もともと梅の木を植える予定だったのですが、ちょうど折しも白梅、梅の木と、梅と重なりますので、令和元年の事業にもなるなと思っておりまして、来週の日曜日午前10時から3本の梅の木を植えさせていただきます。とても楽しみにしております、もし、お時間ございましたら滄浪泉園、いろいろな事業をやっておりますし、たくさんの人たちに、はげの森美術館も知っていただきたいのですが、この滄浪泉園というすばらしい庭園も小金井市の財産でございますので、ぜひ行って来てください。感動されると思います。あそこは中に入ると周りの音がほとんど聞こえませんが、静かな庭園でございますので、5月19日午前10時からぜひお越

しいただければと思います。

○司会者

それではお時間となりましたので、最後に市長より一言申し上げまして終了とさせていただきます。

○西岡市長

今日は貴重なお時間いただきましてありがとうございました。日曜日のこんなにすばらしいお天気、お出かけをしたくなるような日だったにもかかわらずに2時間もおつき合いいいただきましたことに感謝申し上げます。

今月はもう一回、この市民と市長の座談会を5月23日、平日の夜に開催いたしますので、またお時間がありますればお越しをいただきたいと思います。既にご存じのように、5月は新庁舎建設に向けた市民ワークショップの第1回がございます。また、5月19日、先ほど滄浪泉園、10時からと申し上げましたが、同じ時間帯に新庁舎建設に向けましての事業者説明会を開催させていただきますので、こちらに参加したいという方はこの市民説明会にもご参加いただきたいと思います。

小金井市、課題の解決に向けまして、今取り組んでいることはまだまだ道半ばであります。道半ばのものも多うございますが、小金井市は今、長年の課題の解決に向けて、いよいよ動き始めていると、対話は始まったというふうに私は考えております。この流れを大切にしながら、職員と力を合わせて、そして市民の方や市議会の方々との対話も大切にしながら、引き続き小金井のまちづくりと人づくりと未来づくりに努力を重ねてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。本日はまことにありがとうございました。

○司会者

以上をもちまして令和元年度第1回市民と市長の座談会を終了させていただきます。本日はどうもありがとうございました。